

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.25



発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp



**新年明けましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます**



元気づくり支援金 & 低利融資の説明会

さまざまな市民団体が、地域での活動やまちづくりの活動をするために必要な支援金獲得や資金の低利融資を受けるための説明会を開催します。

◆日時 **平成22年1月20日(水)**

午後7時～8時30分

◆会場 松本市市民活動サポートセンター



◆内容 ◇長野県「地域発元気づくり支援金」の説明
◇NPO夢バンクの「低利融資」の説明

◆対象 市民活動を行う団体
(※法人の有無は問いません。)

◆参加 費用は**無料**ですので、当日直接会場にお越しください。

自主事業報告

ブログセミナー 追加講座決定

2月13日(土) 9:30～12:30 「マツアズ」中林講師
2月27日(土) 9:30～12:30 「ナガブロ」草間講師

12月2日、3日の両日、まつもと情報創造館(和田臨空工業団地内)において、ブログセミナーが開催され、講師の分かり易い解説に導かれながら、

2日は「マツアズ」<http://www.matsuaz.com/>

3日は「ナガブロ」<http://www.naganoblog.jp/>

それぞれのウェブサイト、実際に各々**ブログ**(日記風サイト)を作りました。

この講座のねらいは日々の活動やイベント情報などを活動者自らインターネットで発信していただくことです。



募
集

今までサポートセンターでは、イベントチラシを電子化してサポートセンターのホームページで公開するという方法をとってきましたが、よりタイムリーな情報を即時に伝えるため、今後はポータルサイトに皆さんのブログをリンクさせ、紹介していきたいと思えます。

この企画は、市民記者による観光ポータルサイトを運営する「新まつもと物語プロジェクト」と松本サポートクラブ・サイト **razuso** を運営する「松本青年会議所」との協働で進めてきました。

サポートセンターをリアルな活動の拠点とするなら、ネット上にも市民活動の広場を作ろうというものです。ぜひ多くの団体からの参加をお待ちしています。

フェスタ2009

12月11日の振り返る会には12団体15名の方々が参加。開催時期やPR方法、開催目的に至るまで活発な意見交換があり、登録団体へのアンケートの実施(別紙)やフェスタ検討会の次回開催を決めました。

その後の親睦会も大いに盛り上がり「フェスタ2010」の開催に向けて意気高まる好機となりました。

年末のお忙しい中ご参加ありがとうございました。

次回開催は 1月29日(金) 午後7時～9時

ふれあいサロン

12月11日、障害者就労支援施設5施設から30人の利用者やスタッフが参加し、お菓子や手芸品、クリスマス商品等を販売。

販売後はお菓子を食べながら参加者で楽しく交流しました。

今後は四季折々に4回の開催が決定!



このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回、お話をうかがったのは、「**中信多文化ネットワーク**」と「**ひこばえ**」の両団体です。

中信多文化共生ネットワーク ・子ども日本語支援チーム

中信多文化共生ネットワーク（以下CTN）は、中信地区を外国由来の人々が住みやすい地域にしたいという主旨のもと、2008年に設立された団体です。中信地域には約1万人の外国籍の方が様々な問題を抱えながら暮らしています。居住地域での交流が希薄となる中で、県内の他地域では市民団体の支援や行政との協働が進んでいることもあり、中信地域でもネットワークづくりが必要とこの組織をつくりました。



子ども日本語支援チームの会議

「子ども日本語支援チーム」は、CTNの中でも特に、松本市に在籍する外国由来の子どもたちの不就学をなくすことを目的とし、日本語習得が十分でない児童生徒が学校生活に適應できるよう日本語学習の支援

を行います。昨年5月の時点で、市内の小中学校に転入してきた外国籍の児童・生徒は173人おり、そのうち70人程度の子どものが、日本語が分からないために授業についていけない状態です。これまで松本

◇連絡先 Tel 0263-25-7143（事務局）
E-mail hiyorikawasumi@kje.biglobe.ne.jp

市としても、このような児童・生徒を支援してきましたが、更なる充実のため、この事業はCTNに委託されることになりました。

このCTN「子ども日本語支援チーム」は教育委員会の委託を受け、昨年11月、田川小学校を拠点校とし、空き教室を利用した「市子ども日本語支援センター」を開所しました。ここに駐在しているチーム代表の川澄利枝子さんは、学校からの依頼を集約し、日本語支援員やバイリンガル支援員の派遣についてコーディネートしています。

「この活動には日本語支援活動の経験のある方が多く集まりました。それはニーズがあるからで、それに応えたいと思う人がいるということです。子どもたちが国籍や言語からくる格差の犠牲とならずに『育つ権利』が守られ、みな同じように教育が受けられる地域社会づくりが大切です。いじめなどのストレスで体調を崩してしまう子どもや不就学の子どもがいなくなるよう、研修や情報交換を行い、現場である学校と連携を密にして、子どもたちが暮らしやすい地域にしていきたいと思います。」と川澄さんは語ってくれました。

自然観察の会 ひこばえ

代表をつとめる村上さよ子さんにお話をうかがいました。

「ひこばえ」は主に自然観察を目的に1996年に発足しました。インタープリター(*)の研修を受けた仲間や、それまでに環境系などの活動を行ってきた人達と結成された40人ほどの団体です。

「多くの人に自然観察の楽しさを体験してもらいたい、自然に親しむことでその大切さを学び、自然保護へとつながっていけば・・・」そんな思いがありました。その後も様々な自然体験学習や、環境教育リーダーの研修会などを受講し、学んだことを活かすため、グループ内の活動にとどまらずPTAや保育園とともに観察会を行っています。

初めは子ども向けに行っていた活動ですが、回を重ねるうちに、子どもたちに教える前に大人の意識を変えていくことの必要性を感じるようになったそうです。「ボランティア体験や自然体験に大人が関わることで、子どもの感じ方も変わります。都市部の子どもよりも、原体験の多い農村部の子どもほど、自然の中において活発に動き、深く興味を持つ姿が見られるんですよ。」と村上さん。

◇連絡先 TEL/ FAX 0263-26-1573（村上さよ子）

2000年に松本市蟻ヶ崎のアルプス公園基本計画が出た際は、提言書や意見書などを出しました。「意見を出すからには、現場をよく知っておかないと」と何度も公園へ足を運び、その後の管理運営委員会にも参加しました。

今は、主にアルプス公園をフィールドにしたモニタリング調査を行っています。月に1回、同じコースを歩いて植物の観察を記録し、日本自然保護協会に調査結果を5年間にわたり送るものです。「記録を残すことは100年先の人の役に立つはずだから」と村上さんは考えています。こういった活動を通し、多くの人との出会いがあったことも大きな力になったと言います。「ボランティア的な活動ですが、自然を『守り、育て、伝え、残す』ことをこれからも目指していきます。」と話してくれました。



モニタリング調査の様子

(*) インタープリターとは、自然観察インストラクターと同義

松本市ボランティアセンターから ★ご案内★

退職したらどうや
って過ごそう...

中高年 ワ〜グワ〜グワ 講座



これからの人生を楽しくすごすために・・・

内山二郎講師による **3回連続** ワークショップ

	日時	テーマ	会場
第1回	2月6日(土) 13時~16時	「おとうさんの宝探し」 ~人生の棚卸しをして新しい舞台を用意する~	総合社会福祉センター
第2回	2月20日(土) 13時~16時	「地域のニーズや資源に気づく」	市民活動サポートセンター
第3回	3月(未定) 13時~16時	「これからどう生きる? 自分の近未来像」	(未定)

※第一回は松本市ボランティア交流集会(4面 INFORMATION 参照)の第2部で開催

《 問合せ・申込み 》 松本市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話 25-7311 / Fax 27-2239

—3回連続企画— その2

輝く団体、突撃レポート



~ NPO 法人 もちもちの会 ~

今回第2弾として、高山市のNPO法人「もちもちの会」代表の野中さんと事務局長の太江さんからお話をうかがいました。地元出身のお二人ですが、初めて出会ったのは、大阪市内の病院だったそうです。お二人とも心臓病のお子さんをお持ちで、心臓病の子どもたちやその家族に対して何か支援ができないかと考え、7年前に会が発足しました。心臓病を抱えるお子さんは、水分コントロールが難しく、摂取しすぎると体がむくむことや乳幼児も母乳の制限があるらしく、離乳材の使用など、食事に関する知識を会報(情報誌)にして発行することにしました。

法人化をした理由は、自主事業活動や医療に関する講演会を開催するには、市や医療機関の後援や助成などが必要で、その信用を得るためでした。設立前には、事務が素人ばかりなので、申請書類の作成には大変ご苦労されたそうです。

会員は総勢24名で、会員相互のボランティアにより運営し、主な活動は、福祉の勉強会や医療講演会の開催、交流会、相談事業などです。また代表の野中さんは、「フルーツバスケット」という障がい児者を支える会8団体(飛騨地区内)の組織の会長も兼ね、各団体の横のつながりを大切にし、障がい児者の雇用の拡大を考える活動をしています。そのために、各種交流会、障がい児者の自立・自活活動の推進、就労のた

めの学習会等を行っています。このメンバーの中には、「NPO法人りびんぐ」の方も入っているそうです。野中さんは、「市内のNPO団体や市民活動団体は、違う分野であってもそれぞれ仲が良く、いろんなイベントを協力して行いますよ」と言っていました。さらに野中さんの農場では、「ポパイランド」という障がい者の社会参加・就労体験・社会自立に向けての支援活動も行っています。お二人とも大変お忙しく団体活動以外にも、お子さんの通院や「フルーツバスケット」の会議(月1回)の開催など、他の市民活動団体とも積極的に意見交換会を行い、ファシリテーター的な役割もはたして、ただただ感心するばかりでした。

このようなNPO団体や市民活動団体の力によって、高山市の福祉活動が成り立っていることを改めて感じさせられました。(坂下)



正月の風物詩「花餅作り」

《 問合せ 》

〒506-0059 岐阜県高山市下林町215番地

特定非営利活動法人 もちもちの会

(代表者: 野中 由起子さん、事務局長: 太江 和子さん)

Tel: 0577-34-4390 (Fax 兼用)



イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページにて、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんから、多くの情報をお待ちしています。



市民社会をつくる ボランティアフォーラム TOKYO 2010

ボランティア活動や市民活動に関心のある方や実際に取り組んでいる方を対象に、ボランティアフォーラムを開催いたします。今回のテーマは、「希望は市民が創る」。誰もが参加できる社会を考える機会にしていきます。

◇期 日：2月5日(金)～7日(日)

◇場 所：飯田橋セントラルプラザ ほか

◇参加費：1人 1,000円(当日持参)

※一度のお支払いで、期間中の複数のプログラムに参加できます。(ただし、プログラムによって追加料金が必要なものもあります。)

◇問合せ：東京ボランティア・市民活動センター

TEL:03-3235-1171

FAX:03-3235-0050

URL:<http://www.tvac.or.jp/>



青少年自然体験活動指導者養成事業

あらゆる自然体験活動(特に長期)の指導に必要な知識と技術を系統立てて整理し、安全で、かつ、教育効果のある体験学習の指導法を学びます。

◇期 日：コース①2月4日(木)～7日(日) 3泊4日

コース②2月5日(金)～7日(日) 2泊3日

コース③2月7日(日)

コース④2月4日(木)

◇場 所：松本大学セミナーハウス(安曇野市穂高)

または、その周辺

◇参加費：コース①20,000円(宿泊・食事実費込み)

コース②17,000円(宿泊・食事実費込み)

コース③・④1,000円

◇問合せ：松本大学 中澤研究室

TEL:0263-48-7233

E-mail:shizen-taiken@hotmail.co.jp

クラフトフェアまつもと2010 ＜出店者募集＞

5月29日(土)、30日(日)にあがたの森公園で開催される「クラフトフェアまつもと2010」の出展者を募集します。

◇応募締切：2月10日(水) 必着

◇問 合 せ：NPO法人 松本クラフト推進協会

TEL:0263-34-6557

FAX:0263-34-6545

URL:<http://matsumoto-crafts.com>



松本ゾンタクラブ15周年記念式典 & 梓みちよ スタイリッシュコンサート

国際ゾンタ松本ゾンタクラブでは、創立15周年を記念して、記念式典と梓みちよスタイリッシュコンサートを開催します。また、記念事業として助成対象団体も募集しています。別紙「助成金情報」をご覧ください。

◇期 日：4月17日(土)

(13:00開場) 13:30開会

◇場 所：松本東急イン3F クリスタルルーム

◇入場料：無料/整理券が必要

《整理券のお申込方法》 1月末の松本平タウン情報誌、市民タイムス誌に掲載します。

◇問合せ：柳沢 良子

TEL:090-9669-5304

平成21年度

松本市ボランティア交流集会「宝をさがそう！ みんながいきいきと暮らせる地域をめざして」

ボランティア、市民活動に関心のある皆さんが、生きがいのある活動を考え交流する「松本市ボランティア交流集会」を開催します。

◇期 日：2月6日(土) 10:00～16:00

9:30 受付開始

10:00 開 会

～ウエルカムコンサート(ケ・セラ)～

10:15 交流会、分野別活動PR、

参加者による活動PR

13:00 ワークショップ「おとうさんの宝探し」

◇場 所：松本市総合社会福祉センター4階 ほか

◇参加費：無料

◇問合せ：松本市ボランティアセンター

TEL:0263-25-7311

FAX:0263-27-2239



編 集 後 記

例年、実家で迎えた年越しでしたが、受験生を抱えた今年は自宅で過ごしました。お年玉は集まらなかったけれど、子ども達もそれなりにのんびりした様子。いつかは巣立った子ども達を迎えるお正月になるかと思うと嬉しくもあり、寂しさも感じた年明けでした。

みなさんは、どのような新年を迎えられましたか？

(き)